令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

助成団体	公益財団法人日本オリンピック委員会
間接助成団体	公益財団法人日本体操協会
事業細目名	スポーツ国際貢献・協力活動事業
事業名	パラグアイ招へい事業
助成金額	3,420,000 円

令和６年度スポーツ団体スポーツ活動助成を活用し実施される、公益財団法人日本体操協会の「パラグアイ招へい事業」について実施状況調査を行いました。

本事業は、令和６年９月１６日から９月２３日の期間、日本ナショナルチームコーチ指導の下、トレーニング方法を含む技術力向上と国際交流を目的とし、パラグアイ男子チーム５名（コーチ１名、選手４名）を招へいし、渡航や滞在中の合宿参加に係る支援を行うものです。

パラグアイには新設されたナショナルスタジアムがあり、南アメリカコンペティション選手権も実施されています。しかし試合のできる環境ではあるものの、基本的な器具が揃っているとは言えず、練習用着地ピット等の補助道具が常に不足しているとのことです。基礎となる練習環境が整っていないため、技術レベルは南米の中でも低い状態とのことでした。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、練習環境が不十分で悩んでいたパラグアイを日本へ招へいし、充実した環境で練習を行い、技術を磨ける貴重な機会とすることができたとのことです。また、指導者にも、安全かつ効率的な日本の指導方法を伝授したとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

同じスポーツ国際貢献・協力活動事業において、カメルーンナショナルチームを同じタイミングで招へいすることにより、事業実施の効率性を上げることができたとのことです。また、事業終了後に、この事業内容について今後実施する招へい事業の参考とするため、聞き取りを実施するとのことです。なお、会場にくじ助成のバナーの設置及び合宿前のオリエンテーションで参加者へ事業について説明を行い、くじ助成金を受けて実施していることを周知しているとのことです。

■所感

当日は同じスポーツ国際貢献・協力活動事業で招へいされたカメルーンナショナルチームも同会場で練習を行っており、どちらの国も日本ナショナルチームの指導者による解説を真剣に聞き、協力しながら熱心に練習に取り組む姿を見ることができました。

本事業に参加したパラグアイ選手の更なる活躍、及び本事業がパラグアイの競技力向上・発展に寄与することを期待します。

（令和６年９月２０日往査）

（写真）練習の様子



